

12-19right\_12-19left.JPG 2018/12/31

12-19right

手配等の助力を致し呉候積り、岩富迄駄馬を貸し呉候」同所午休検見川秋元屋泊

十一日戌 晴

検見川出立、逆井午休、陸通り小網町八幡屋泊、同逆旅に今朝迄□□止宿罷在候よし

一日の前後にて行違にに成り候□□迄、尾張屋殿へ行き横浜手配方の儀頼む」八蔵は

福地源(b)方へ遣し行衛聞合処、空音也、尤猶穿鑿いたし呉候趣也

十二日亥 晴

八蔵は今一日逗留いたし義雄方へ行き(遣し)、此度の儀を報告せしめ、且出立□、猶手配の

儀、徒々申含め

□金方を渡し出立、生麦桐屋午休」平塚中村屋泊

十三日子 晴乍陰終日

12-19left

平塚出立、大磯若竹屋午休 畑釜成屋泊

十四日丑 薄陰漸に濃夕前雨意

畑出立三島午休、吉原扇屋泊

十五日寅 薄晴夕前漸雨意

「静岡着」

吉原出立、興津午休、夕前荷□□え□携品あり、道中筋休泊共人を付け、同家に至り

し処、更に□□無し、空漠たり」徒々の物語りあり人労手数□察知、妻よりの返事を渡す

十六日卯 薄陰

新□り行き□携品あり、叔母よりの雁書二書を渡す、猶返書受取酒飯を勧めらる、平山省

□

深く人(a)□に懸け呉候趣に付、同方へ行き謝を述べ、且亀井にも同断の趣に付、謝品を携へ

\*b:福地源、幕臣福地源一郎(桜痴)のことか？

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。